

# Solase 単細胞消化液

目次 #RP01021 100mL

## 製品概要

Solase は、穏やかに作用する単細胞消化液であり、プロテアーゼとコラゲナーゼ活性を有しています。これにより、細胞の生存率と接着効率を向上させ、消化後の細胞は良好な表面抗原を保持します。この消化液は、トリプシンや Accutase の代替として様々な組織や細胞の消化に使用できます。哺乳類や細菌由来の成分を一切含まないため、細胞培養関連の実験に直接使用できます。

## 製品情報

表 1 : Solase 単細胞消化液製品詳細

製品情報	品番	規格	保存条件
Solase 細胞消化液	RP01021	100mL	-20 °Cで 2 年間、 4 °Cで 2 ヶ月間保存

## 使用説明

### (一) Solase 単細胞消化液の解凍

1. 解凍：4 °Cで一晩解凍するか、または室温（15-25 °C）で解凍します。37 °Cで解凍しないでください。解凍後はよく混ぜ合わせてください。

**Tips :** 解凍後、必要に応じて分注保存可能です。

2. 解凍後は4 °Cで2ヶ月間保存可能です。長期保存の場合は-20 °Cで2年間保存可能です。

表 2 : 培養容器別の Solase 推奨使用量

容器	ウェル面積	使用量
6 ウエルプレート	10 cm <sup>2</sup> / ウエル	1.0 mL / ウエル
12 ウエルプレート	5 cm <sup>2</sup> / ウエル	0.5 mL / ウエル

60mm ディッシュ	20 cm <sup>2</sup>	2.0 mL
100mm ディッシュ	60 cm <sup>2</sup>	6.0 mL
T25 フラスコ	25 cm <sup>2</sup>	2.5 mL
T75 フラスコ	75 cm <sup>2</sup>	7.5 mL

## (二) 単細胞の消化 (6ウェルプレートを用いたhiPSC消化の例)

1. 細胞が約85%コンフルエンシーに達した時点で消化を開始します。DPBS (Ca<sup>2+</sup>/Mg<sup>2+</sup>不含) を2 mL/ウェル添加し、消化対象の細胞を1回洗浄します。

2. 表2を参照し、Solase消化液を1 mL/ウェル添加し、37 °Cインキュベーターで5~8分間インキュベートします。

**Tips :** (1) 培養プレートはインキュベーターの金属仕切り板に直接接触させ、均一に加熱されるようにします。積み重ねはしないでください。

(2) Solaseによる消化時間は、hiPSCの培養基質 (Matrigel®/VTN) や細胞状態によって異なります。軽くプレートを叩く時に細胞が完全に基質から剥離することを基準とします。

(3) 細胞株によって消化時間は異なります。実態に応じて消化時間を調整可能です。細胞が完全に基質から剥離することを基準とします。

3. 消化後、DMEM/F12 培地を 2 mL/ウェル添加して細胞を再懸濁し、200 × g で 5 分間遠心します。

4. 遠心後、直ちに細胞計数または継代を行うことができます。

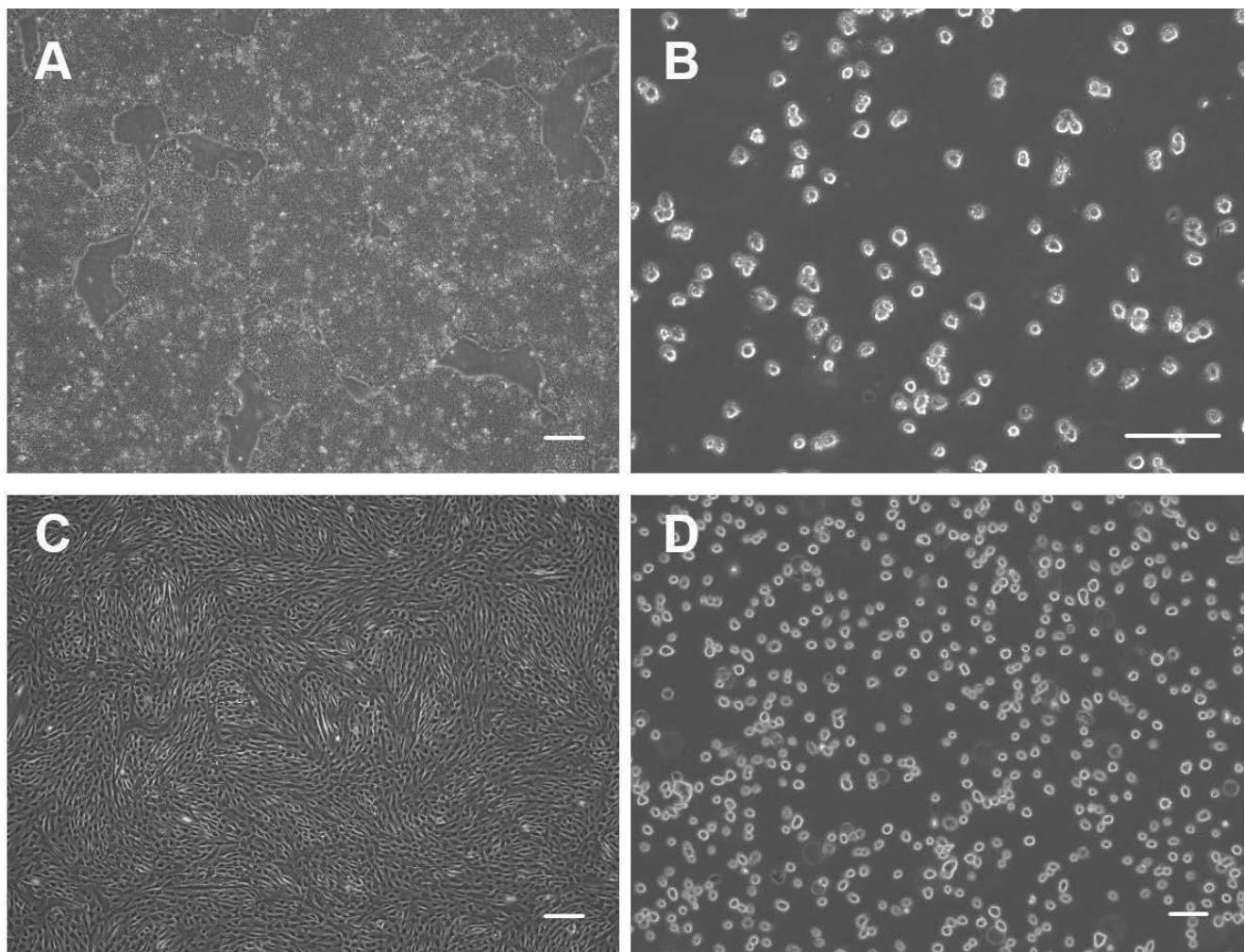


図 1: hiPSC (A) 消化5分後 、細胞が 基質から完全剥離し、単細胞状態になった (B) 。

hMSC (C) 消化5分後 、 細胞が完全浮遊し、単細胞状態になった (D) 。スケールバー：200  $\mu\text{m}$